特許協力条約

REC'D 2 6 NOV 2004

PCT

WIPO PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の告類記号 JSONY-422PCT	今後の手続きについ	ハては、様式PCT/	IPEA/416を	◇照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/11572	国際出願日 (日.月.年) ¹	0. 09. 2003	優先日 (日.月.年) 18.	09.2002	
国際特許分類(IPC) In	t. C1' H03G	3/10 H03F1	/32		
出願人 (氏名又は名称)	ソニー株式会	社			
	T-1-1	·····	· 		
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条) (の規定に従い送付する	5 . '		\	
2.この国際予備審査報告は、この表紙	を占めて全部で	^	ンからなる。		
3. この報告には次の附属物件も添付される。 a	れている。 ページであ	ა			
□ 補正されて、この報告の基 囲及び/又は図面の用紙(む明細審、請求の範 ・	
第 I 欄 4 . 及び補充欄に示 国際予備審査機関が認定し		における国際出願の開	示の範囲を超えた補]	正を含むものとこの	
			(ann an 146.1)		
b 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示す ブルを含む。 (実施細則第8		夕読み取り可能な形式	(電子媒体の による配列表又は配)種類、数を示す)。 列表に関連するテー	
4. この国際予備審査報告は、次の内容	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	······································		
★ 第 I 欄 国際予備審査報第 I 欄 優先権	最告の基礎		•	. ,	
第 第 類 新規性、進歩性		「能性についての国際	予備審査報告の不作成	रे	
第Ⅳ欄発明の単一性の			and the billion of the	_ = 000 000 1 0000 1	
X 第V欄 PCT35条(けるための文稿		、進歩性乂は産業上の	2利用 可能性について	の見解、それを製付	
第VI欄 ある種の引用プ					
第227 第227 国際出願の不信					
第四欄 国際出願に対す	する意見		• .		
				•	
国際予備審査の請求 ひ 登 理 した 日 03.02.2004		国際予備審査報告を	と作成した日 2.11.2004		
名称及びあて先		特許庁審査官(権限	眼のある職員)	5 J 9 1 8 0	
日本国特許庁 (IPEA/JP				<u> </u>	
郵便番号100-8915		畑中 博幸			
東京都千代田区霞が関三丁目 4	番3号	雷託来号 ハマー	3581-1101	内線 3535	

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/11572

第 I 欄 報告の基礎	
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほ	か、国際出願の言語を基礎とした。
この報告は、 語による翻訳文章	を基礎とした
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語であ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査	ა გ.
PCT規則12.4にいう国際公開	
□ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査	£
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第69 た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この	条(P,CT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され の報告に添付していない。)
X 出願時の国際出願事類	•
明細書	
第 ページ、 第 ページ*、	出願時に提出されたもの
第 ページ*、	・ 付けで国際予備審査機関が受理したもの ・ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
請求の範囲	
第 第 第	出願時に提出されたもの
	PCT19条の規定に基づき補正されたもの けいである。 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第	・ 付けで国際予備審査機関が受理したもの ・ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
□ 図面	•
第 ページ/図、 第 ページ/図*、	出願時に提出されたもの
第 ページ/図*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
配列表又は関連するテーブル	
配列表に関する補充欄を参照すること。	
3. 🗌 補正により、下記の魯類が削除された。	
□ 明細 書 第	ページ
第一 関南 第一	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
配列表 (具体的に記載すること)	ページ/図
□ 配列表に関連するテーブル・(具体的に記載す	すること)
4 The contribute description of the contribute o	•
4. [_] この報告は、補充欄に示したように、この報告に えてされたものと認められるので、その補正がさ	こ添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超されなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
· 明細書 第	
開来の範囲第	ページ 項
□ 図面 第□ 配列表(具体的に記載すること)	ページ/図
配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	トること)
·	
·	·
* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記	入されることがある。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/11572

見解				
	. :			•
新規性 (N)	請求の範囲・	•		
	請求の範囲	1-6	,	
	;		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
進歩性(IS)	請求の範囲	6		
	請求の範囲	1-5		
苯类 1 0 型 平 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		·		.,
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-6	·	
·	明水少型			
文献及び説明(PCT規則	[70 7]			
•	•		•	
文献1: JP 4-1			•	•
	-234067	A(京セラ株式会社)		
		文、図 I ,図 2 A (株式会社日立製作)		
入1队4・ JP 2()(01-2235/	0 / / / / ht-th-	会社) ·	
文献 5 : JP ̄48-	- 9 0 6 5 2 4	、	^ 4 1 \	
		こ、全図	会仕)	
			日本国実用新案登録	弘出身
したマイクロ	ュフィルム(八木	アンテナ株式会社	彗及び図面の内容を	撮景
. IUQA	14 112 351	1991 / _ 1		
文献 7 : IP - 53-	-60 E 4 C TA	Addition by A. L.L		
ス版 (・) P - 53 - 1978 (-60546 A	(株式会社日立製作)		
文献 7・ J P - 53 - 1978. (0 文献 8: J P - 6 - 3	-60546 A)5.31 全文 R34454 A	、株式会社日立製作所 、第2図、第3図 、***		
スト・JP 53- 1978. (文献8: JP 6-3 1994. 1 -請求の範囲1 3	-60546 A 05.31 全文 334454 A 12.02 段落	、(株式会社日立製作展 、第2図、第3図 、(株式会社日立製作展 [0007] — [00	所) D 1 3] 、図 1	
スト・JP 53- 1978. (文献8: JP 6-3 1994. 1 -請求の範囲1, 3, 国際調査報告で提示	-60546 A 05.31 全文 334454 A 12.02 段落 4について-	、株式会社日立製作系 、第2図、第3図 、株式会社日立製作系 [0007] — [00	所) D 1 3]、図 1) = F1
ス 1978-1 1978-3 1994-1 ボーボー 1994-1 ボーボー 1994-1 ボー	- 60546 A 05.46 全 05.34454 会 12.00 12.00 14.00 15.00	、 (株式会社日立製作所 、第2図、第3図 (株式会社日立製作所 [0007] - [0(は2には、それぞれが Tのドレインにソープ	所) D 1 3] 、図 1 バ入力信号がゲート スが接続される第 2	のF
X 文 199 199 199 199 199 199 199	- 60546 A 05.46 全 05.31 4 5 4 02.4 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0	(株式会社日立製作所 、第2図、第3図 、第2図、第3図 (株式会社日立製作所 [0007] - [00 は2には、それぞれた エのドレインにソース ンースが共通に接続さ	所) 013]、図1 ぶ入力信号がゲート なが接続される第2	のF
X 文 199 199 199 199 199 199 199	- 60546 A 05.46 全 05.31 4 5 4 02.4 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0 2 0	(株式会社日立製作所 、第2図、第3図 、第2図、第3図 (株式会社日立製作所 [0007] - [00 は2には、それぞれた エのドレインにソース ンースが共通に接続さ	所) 013]、図1 ぶ入力信号がゲート なが接続される第2	のF
ス 文 一 フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ	- 60346 4 7 60346 4 7 60346 4 7 60346 7 6034	(株式会社日立製作所 第2図、 第2図、 第1回 (第2回、 第1回 (第2回 (》 (》 ()	所) ① 1 3] 、図 1 が入力信号がゲート なが接続される第2 されるととから構成 以下ETとから構成 なは文献4には、並	の F の F わ 利 材
文 文 一 加豆豆 5 売り 5 名 4 3 提 E い 共 が 報 に 通 る 5 に 通 で F 互 が 器 査 増 国 変 た れ か の 変 た れ か の 変 た れ か の 変 た れ り イ 増 際	- 603 4 0 0 5 6 1 6 0 3 4 0 0 0 た 第 で と 第 に れ で と 第 に れ で と 第 に れ で と れ で と ま れ で と ま で と れ で と ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	株式会社 日立製作所 (株式会社 月 3 製作所 第 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	所) D 1 3]、図1 が入力信号がゲート なが接続される第2 ととから構成 とないとは、 は文献4には にい に別個に制御電	ののさ 列圧
ス 文 一 MEES 売り 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 603 4 0 0 5 6 1 6 0 3 4 0 0 0 た 第 で と 第 に れ で と 第 に れ で と 第 に れ で と れ で と ま れ で と ま で と れ で と ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	株式会社 日立製作所 (株式会社 月 3 製作所 第 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	所) D 1 3]、図1 が入力信号がゲート なが接続される第2 ととから構成 とないとは、 は文献4には にい に別個に制御電	ののさ 列圧
ス 文 一 MEES 売り 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 603 4 0 0 5 6 1 6 0 3 4 0 0 0 た 第 で と 第 に れ で と 第 に れ で と 第 に れ で と れ で と ま れ で と ま で と れ で と ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	(株式会社日立製作所 第2図、 第2図、 第1回 (第2回、 第1回 (第2回 (》 (》 ()	所) D 1 3]、図1 が入力信号がゲート なが接続される第2 ととから構成 とないとは、 は文献4には にい に別個に制御電	ののさ 列圧
ス 文 一 で 下 で で 下 で で で で で で で で で で で で で	- 6 1 5 1 6 1 6 1 6 1 6 1 6 1 6 1 6 1 6 1	(株2 (株2 (株2 (株2 (株2 (株2 (株3 (株3 (株3 (大3 (大3 (大3 (大3 (大3 (大3 (大3 (大	所) 13]、図1 バ入力信号かるに が入力信号かるに があると がるまとから でする でする でする でがる でがる でがる には には には には には にい には に に に に に に に に に に に に に	ののさ 列圧。を する
文 文 一 PEES 売り こころ 1 元 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 6 1 5 1 6 1 6 1 6 1 6 1 6 1 6 1 6 1 6 1	は、(作) (株2会) (株2会) (株2会) (株2会) (株2会) (大学) (本2会) (本2 (本2 (本2 (本2 (本2 (本2 (本2 (本2	所) 13]、図1 バ入力信号がある が入力信号があるに があるとか で第2 でする でがる である でがる である でがる でがる である でがる には には には には には には にい には に に に に に に に に に に に に に	ののさ 列圧。を 有
ス 文 一 加EE3 売卯 ン ー ルタス 文 一 加EE3 売卯 ン ー ル路	- 03 と ここのでは、	は、(「しなアン数で献増構る は、(では、)、(では、	所) 1 3] 、 3] 、 5 付るにら 5 がれるE 5 大がるE 5 大がるE 5 大がるにら 5 大がるにら 6 大がるにら 6 大がるにら 6 大がるにら 6 大がるにら 6 大がるにも 6 大がるにも 6 大がるにも 6 大がるにも 6 大がるにも 6 大がるにも 6 大がると 6 大がっ 6 トラン 6 オーラン	ののさ 列圧。を ・ 可ストトれ 接を 有 ・ さタ

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

ー請求の範囲5について-

国際調査報告で提示された文献6には、カスコード型可変利得増幅器において、信号入力部と信号出力部とを接続する帰還路を設けることが記載されている。よって、請求の範囲5に係る発明は、文献1~6により進歩性を有しない。

-請求の範囲6について-

請求の範囲 6 に係る発明は、国際調査報告で提示されたいずれの文献にも記載されておらず、また当業者にとって自明なものでもない。